

# 四国生乳販連ニュース

四国四県の生産者と連合会をつなぐコミュニケーション紙

## 第14号

発行日/平成19年10月15日

発行所/四国生乳販売農業協同組合連合会

〒760-0023 香川県高松市寿町一丁目3番6号

編集・発行人/菊川 時彦

## 四国の乳質基準等について

平成19年4月より、四国の広域生乳検査がスタートして、半年が経ちました。生産者をはじめ、関係者の方々には、ご理解ご協力をいただき、円滑に運営されております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

広域生乳検査のスタートと同時に、四国の乳質基準及びペナルティが統一され、運用していく中で、かねてより生乳受託販売委員会において、ペナルティの単価について見直しを要請されておりました。これまで、データを蓄積し、協議検討を重ねてまいりました結果、9/27開催の生乳受託販売委員会において、各委員の意志を確認の上、見直すことが決定された後、10/5開催の理事会において、乳脂肪率ペナルティの見直しが決定されました。なお、取引基準を下回り乳業者に買入を拒否された場合、全ての損害は該当出荷生産者の負担となることを前提に、ペナルティ単価の変更を実施いたします。乳脂肪ペナルティの見直し内容については、以下のとおりです。

		改定前		改定後
FAT	3.4以上～3.5未満	-5円	→	-2円
	3.3以上～3.4未満	-10円	→	-4円
	3.2以上～3.3未満	-20円	→	-8円
	3.1以上～3.2未満	-30円	→	-16円
	以下0.1%ごと			-10円減算

参考：広域生乳検査データ

四国における生乳検査は、毎月3回実施しており、平成19年4～8月末の生乳検査において、乳脂肪（基準値3.5%）と無脂乳固形（基準値8.3%）については、乳脂肪率及び無脂乳固形分率で80～90%程度の生産者が規格基準以上となっています。

体細胞数については、ペナルティの回数が0～5回の生産者は、全生産者の80%程度となっています。各ペナルティ金額（脂肪・無脂乳固形・細菌・体細胞）については、平成19年4～8月末の累計で約77,000千円。そのうち主に体細胞のペナルティが、約61,000千円（全体に占める割合約80%程度）となっています。



## 酪農理解促進生産者緊急活動の実施

輸入飼料価格の高騰による生乳生産コストの大幅な増加等の国内酪農の生産環境の変化及び国際的な乳製品需給ひっ迫・価格高騰などの牛乳乳製品市場の構造変化について、消費者に早急かつ的確に情報を発信し、生乳生産の安定及び牛乳乳製品の国内自給の確保に向けた取り組みの必要性などについて、幅広い国民の理解を促進することが極めて重要です。

消費者等への配布チラシの一部

**NO MILK  
NO LIFE**

牛乳のない生活なんて考えられない！



**きいてください！  
いま、日本の牧場が  
ピンチなんです！！**

日本の酪農家一同

活動の最終目標は、日本酪農及び牛乳乳製品市場をめぐる危機的な状況に対する国民的な理解が浸透し、マスコミが酪農現場の状況を好意的かつ積極的に報道し始め、流通関係者も含めた多くの国民が、牛乳乳製品の価格等についても好意的な認識を持つような世論が形成されることにあります。

このようなことで、酪農理解促進生産者緊急活動を実施することとなりました。

四国地域におきましても、より効果的な活動を推進してまいりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



主な活動は、以下のとおりです。

- ①一般消費者に向けた活動：地域の酪農の現状を訴求するチラシ等を制作し、街頭イベントなどの効果的な方法で、情宣活動を実施。
- ②関係団体等に対する活動：牛乳販売店組織、生協等の理解促進が進むよう、チラシ等の配布などの協力・連携活動を依頼。
- ③マスコミ向けの活動：関連する酪農理解促進資料及び緊急活動に関する情報を整理し、マスコミ各社に対して配布。

## 平成19年度乳価について

平成19年度乳価交渉については、これまで、酪農経営が窮地に立っている生産者の意志を反映すべく交渉を進めてきました。しかしながら、乳業者においては、生産者の置かれている厳しい経営環境について理解は示すものの、前進した回答は得られませんでした。

一方、広域指定団体と生産者が一体となって牛乳等の小売価格への生産コスト上昇分の価格転嫁を図るため消費者等に窮状を訴える全国緊急運動を実施することの理解と協力を求めました。

直近の生乳受託販売委員会(9/27)及び理事会(10/5)において、全国並びに四国の交渉状況等の経過を踏まえ、早期決着を図るため「据え置き」止む無しの方向で協議し、決定いたしました。

## 生乳需給をめぐる情勢と計画生産状況について

全国における受託販売乳量の動向は、前年と比べて減少傾向が続いています。北海道では、若干増加していますが、都府県においては、減少となっています。都府県団体で最も減産率が大きいのは北陸で、次いで、四国・東海・関東となっています。四国においては、9月末前年対比で、4.9%の減少となっています。

全国における生乳需要の動向は、牛乳等向けが当初予測を下回るものの、特定乳製品向け(生クリーム等向け及びチーズ向け)は当初予測数量を上回っています。

また、乳製品需要量は、特別対策の実施、バター・脱脂粉乳とも国際市況の高騰等による国産乳製品需要が好調に推移しています。このため、実際の需要量は、予測数量を上回っていると推定されます。こうした乳製品需要は、20年度も継続することが見込まれるほか、19年度後半からは新チーズ工場の稼働も予定されている状況にあります。

四国における計画生産の進捗状況については、以下のとおりとなっています。(単位：トン)

会員名	第1四半期		第2四半期		合計	
	乳量	前年比	乳量	前年比	乳量	前年比
徳島県酪農協	12,064	98.0	10,678	97.0	22,742	97.5
香川県農協	9,863	94.0	8,863	93.9	18,726	93.9
愛媛県酪連	12,360	92.6	10,884	97.3	23,244	94.8
全農高知県本部	6,736	92.0	5,765	94.2	12,501	93.0
合計	41,023	94.4	36,190	95.8	77,213	95.1

※チーズ、公共分除く

平成19年度における四国の最終販売基準数量は、160,278トン、前年比100.4%であります。9月末累計の進捗状況は、前年比95.1%となっており、計画生産達成に向けた生乳生産をお願い致します。



## 平成19年度会員別生乳受託販売実績

(単位：ト,%)

会 員 名	第1 四半期	前年 対比	7月	前年 対比	8月	前年 対比	9月	前年 対比	上半期 合計	前年 対比	9月末 戸数
徳島県酪農協	12,064	98.0	3,735	97.9	3,535	97.7	3,409	95.3	22,743	97.5	210戸
香川県農協	9,875	94.0	3,083	95.2	2,942	94.5	2,845	91.8	18,745	93.9	165戸
愛媛県酪連	12,390	92.7	3,798	96.4	3,621	98.3	3,501	97.2	23,310	94.8	186戸
全農高知県本部	6,776	92.1	1,988	93.2	1,904	94.1	1,895	95.1	12,563	93.0	89戸
合 計	41,105	94.4	12,604	96.0	12,002	96.5	11,650	95.0	77,361	95.1	650戸

## 平成19年度用途別販売実績

(単位：ト,%)



用 途 別	第1 四半期	前年 対比	7月	前年 対比	8月	前年 対比	9月	前年 対比	上半期 合計	前年 対比	平均 単価
飲用牛乳向け	34,640	95.8	11,106	95.4	10,458	96.7	10,474	96.5	66,678	96.0	98.33円
(うち学校向け)	3,867	97.5	940	106.8	8	50.8	1,191	89.2	6,006	96.9	103.77円
醗酵乳等向け	2,307	93.1	752	92.9	739	95.0	694	95.1	4,492	93.7	76.44円
特定乳製品向け	3,272	80.8	443	129.4	476	100.9	161	48.8	4,352	83.8	56.33円
(うち委託加工向け)	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	—
生クリーム向け	803	103.8	284	90.4	312	88.2	292	90.1	1,691	95.8	80.85円
チーズ向け	31	136.4	8	65.6	8	105.4	20	107.9	67	109.6	39.34円
公 共 分	52	98.4	11	80.5	9	70.4	9	73.3	81	88.4	98.63円
総受託乳量	41,105	94.4	12,604	96.0	12,002	96.5	11,650	95.0	77,361	95.1	94.10円
加工比率	8.0		3.5		4.0		1.4		5.6		

(成分加算金除く)

★四国生乳販連ホームページをよろしくおねがいします★

URL: <http://www.dairy.co.jp/shikoku/>

## 四国生乳販連・行事だより

開催月日 場 所	会 議 名	協議内容・報告事項
19年 8月7日	事業推進委員会及び 第57回事業推進専門 部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度計画生産の進捗状況</li> <li>・生乳検査の現状</li> <li>・中期計画に基づく乳代精算システムの実施</li> </ul>
香川県県民ホール5階会議室		
19年 9月3日	第58回事業推進専門 部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度計画生産の進捗状況</li> <li>・生乳検査の現状</li> <li>・実態調査</li> </ul>
香川県 JA ビル 3階会議室		
19年 9月27日	第3回生乳受託販売 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の生乳需給をめぐる情勢と計画生産進捗状況</li> <li>・平成19年度生乳取引交渉</li> <li>・酪農理解促進生産者緊急活動の実施</li> <li>・乳質基準及び生乳検査に係る各種データ</li> <li>・生乳受託販売委員の任命</li> <li>・平成19年度経営安定対策事業に係る拠出金単価等</li> <li>・用途別販売実績及び主な補助事業等</li> <li>・第5回四国地域生産者交流研修会の開催</li> <li>・四国管内の集乳・送乳実態等</li> </ul>
		
サンポートホール高松6階会議室		
19年 10月2日	第59回事業推進専門 部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の生乳需給をめぐる情勢と計画生産進捗状況</li> <li>・酪農理解促進生産者緊急活動の実施</li> <li>・乳質基準及び生乳検査に係る各種データ</li> <li>・抗菌性物質の簡易迅速法検査の取組み</li> <li>・平成19年度生乳取引交渉</li> <li>・平成19年度経営安定対策事業に係る拠出金単価等</li> <li>・四国管内の集乳・送乳実態等</li> </ul>
香川県 JA ビル 3階会議室		
19年 10月5日	第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の生乳需給をめぐる情勢と計画生産進捗状況</li> <li>・平成19年度生乳取引交渉</li> <li>・酪農理解促進生産者緊急活動の実施</li> <li>・乳質基準及び生乳検査に係る各種データ</li> <li>・第5回四国地域生産者交流研修会の開催</li> <li>・用途別販売実績及び主な補助事業等</li> <li>・四国管内の集乳・送乳実態等</li> <li>・平成19年度経営安定対策事業に係る拠出金単価等</li> </ul>
		
香川県 JA ビル信連会議室		

# 第5回四国地域 酪農生産者交流研修会

- ◆ 開催日時 : 平成19年11月21日(水)  
11:00~15:30
- ◆ 開催場所 : サポート高松 第2小ホール
- ◆ 参加費 : 無料(昼食付き・牛乳飲み放題・アルコールなし)  
会場等準備の関係上、事前予約をお願いします!!

講師 **瀬野 豊彦 氏**  
(森永酪農販売株式会社 畜産コンサルタント)  
演題 「厳しい環境下での酪農経営の方向」



講師 **前田 浩史 氏**  
(社団法人中央酪農会議 事務局長)  
演題 「酪農を巡る情勢」

飼料価格高騰・飲用牛乳消費の減退・減産型計画生産等々、酪農を巡る環境は厳しい中ではありますが、この機会に四国内酪農生産者間において、広く交流を深めませんか？

一人でも多くの方のご参加をお待ちしております!!



## お申し込み・お問い合わせ

徳島県酪農業協同組合 TEL : 088-674-0401

香川県農業協同組合 TEL : 087-818-4139

愛媛県酪農業協同組合連合会 TEL : 089-966-1400

全国農業協同組合連合会 高知県本部 TEL : 088-884-4400

四国生乳販売農業協同組合連合会 TEL : 087-825-0288